

平成23年度 評価方法と今後の方針

1 概要

平成23年度の評価は、平成23年度に策定した、「活動目標の評価指標表」による、博物館活動の評価の初の試みとなりました。評価は、より正確な内部評価がなされること、職員の経営参画意識を高めることを目的として、全職員が参加し、実績入力から評価までを行いました。

2 活動目標の評価指標表を用いた評価

(1) 評価項目

評価項目は、「自然史博物館の使命と事業方針」で定めた7分類について、活動の種類別に活動目標項目として定め、事業方針と評価をリンクさせることで、効率的でわかりやすい評価を目指しました。

(2) 評価指標・目標値

評価指標は、一般県民にも理解しやすく数値化できるものを重視して選定、別途作成している年報とリンクさせ、効率化と明確化を図りました。目標値は、過去の実施状況を踏まえて設定しています。

(3) 項目別実績結果の作成

「活動目標の評価指標表」の活動目標項目毎に担当者が実績を入力し、「平成23年度自然史博物館活動の項目別実績結果」を作成しました。

(4) 評価の検証とまとめ

「平成23年度自然史博物館活動の項目別実績結果」で項目別に示された平成23年度実績を踏まえ、平成23年度における自然史博物館の活動について評価を行いました。評価は、職員全員に平成23年度自然史博物館活動実績項目別詳細をフィードバックし、7分類全体について職員全員が検証し、平成23年度の博物館の現状を文章で評価しました。職員から提出された評価を基に、名誉館長以下管理職を含む職員6名で構成する内部評価委員会にて、「平成23年度自然史博物館活動の内部評価結果の総括」を作成しました。

3 内部評価後の取組

(1) 評価結果のフィードバック

「平成23年度自然史博物館活動の内部評価結果の総括」は、職員全員にフィードバックし、今後の活動目標の明確化、共有化を図りました。なお、「活動目標の評価指標表」の目標値、活動目標項目の変更等が必要なものは、担当者の意見により、内部評価委員会で決定していきます。

(2) 結果の公表

「平成23年度自然史博物館活動の内部評価結果の総括」、「平成23年度自然史博物館活動の項目別実績結果」は、「群馬県自然史博物館の使命と事業方針」とともに、博物館事業について広く県民の理解を求め、県有施設としての説明責任を果たすため、当ホームページで公開しました。

(3) 外部評価の導入

「魅力ある博物館を語る会」の提言で示された外部評価の導入については、平成24年度に県で設置を予定する文化審議会等の動向等を踏まえて、なるべく早い時期の実現を図っていきます。